

# 港区議会議員選挙 をふりかえって



小斉 太郎

- ☞ 昨年の港区議会議員選挙は、私にとっての再挑戦でありました。
- ☞ 港区長選挙に挑み、敗北後、その際に賜りました 9535 票のご期待にどうすれば応えることができるのか、港区や港区民のために私ができることは何か、将来に明るい展望が見出せない日本を港区から変えることはできないか…。静かに思いを巡らせながら過ごしました。
- ☞ そして、再び議会という政治の最前線で、区民の視点に立ち区政を厳しくチェックすること。区民のみなさんの声を聞き政策提案を重ねること。広く世の中に自論、持論を問うていくこと。改めて初心に立ち返り、一からスタートする道を選びました。
- ☞ この選挙では、「豊かな財政の港区だからこそ厳しい行政のチェックが必要」「議員は、納税者の立場でチェック機能を十分に果たさねばならない」と訴えました。年間の税収が、10 年前と比べて 235 億円も増加し、必要以上に税金を預かることとなっている今の港区政。その使い道について議論なく「使い切る」体質を続ける港区政。このような区政の現状を説明し、**議員本来の役割である「行政のチェック機能」をぜひ私に再び任せて頂きたい、という思いをストレートに訴え続けて参りました。**
- ☞ その結果、1893 名という多くの区民の皆様投票頂き、再び議席を与えて頂きました。三年間のブランクがあり厳しい選挙でしたが、多くの皆様に私の政治姿勢や政策にご賛同頂くことができました。この選挙を通じて、小斉太郎に投票頂くことを通じて、区政改革への参加表明を頂きました。この度の当選は、「しっかりと役割を果たし成果を挙げることを求められている」のだと、これまで以上にその重責をずっしりと感じながら日々活動しています。
- ☞ さて、選挙結果を見るとお分かり頂けるように、今般の議会構成は新人が 10 名、元職 2 名を

## 2007年(平成19年)4月22日執行 港区議会議員選挙の概要と過去比較

	2007 (H19)年	2003 (H15)年	1999 (H11)年	1995 (H7)年
当日有権者数	156,094	136,822	126,940	121,182
投票総数 (内無効票等)	56,420 925	49,682 896	53,326 864	49,092 658
投票率	36.14%	36.31%	42.01%	40.51%
当選者/立候補者	34名/51名	34名/48名	35名/52名	40名/47名
こさい太郎得票数	1893票 (第三位)	1573票 (第二位)	1372票 (第九位)	1724票 (第一位)
こさい太郎得票率	3.41%	3.17%	2.62%	3.56%
参考数値	新人10名当選 元職2名当選 現職5名落選	新人8名当選 現職4名落選	新人6名当選 現職5名落選	新人8名当選 元職1名当選 現職5名落選

- ☞ 加えると、議席の 1/3 以上が入れ替わったことになり。これが有権者のみなさんの大きな意味での選択だったといえます。
- ☞ 新人議員の多くは自民党や民主党という大きな政党に属しており、なかなか自分のカラーを出しにくいポジションにありそうです。しかし、そうはいつでもこれまで一区民として生活していた訳で、生活者に近い感覚を持っているのは新

- 人議員のはず。彼らにも積極的に働きかけながら、区政の改革を一步ずつ進めたいと思っています。
- ☞ 最後になりますが、皆様には、今後ともご支援を賜りますことをお願い申し上げますとともに、私の活動に対しまして「厳しいチェック」をして頂きますよう、心からお願い申し上げます。

### 小斉太郎 選挙運動費用 収支概要

2007年(平成19年)4月22日執行 港区議会議員選挙

収入		支出	
小斉太郎自己資金	500,000	交通費(タクシー等)	13,020
		広告費(新聞広告掲載)	91,728
		食料費	27,363
		通信費(電話代等)	52,988
		雑費	348
		印刷費(選挙葉書作成)	268,200
収入計	500,000	支出計	453,647

### 【選挙運動費用の説明】

- ☞ 上記は、選挙運動期間中の収支概要で、自己資金のみで活動することができました。
- ☞ 日常の政治活動については別途、政治団体の収支報告を東京都選挙管理委員会に報告しています(別頁に概要掲載)。
- ☞ 皆様から頂いたご寄附は、全て日常の政治活動に充てさせて頂いています。特に、政策資料の作成費用や郵送料金に多く充てました(別頁に概要掲載)。
- ☞ 事務的な選挙の準備(文房具や備品等)は、日常の政治活動で使用している物でまかなうことができました。
- ☞ 区議会議員の選挙期間中に行える活動は限られています。主には、車両による街頭宣伝、

- ☞ 電話での投票依頼、公営掲示板へのポスター貼付、選挙用葉書郵送、新聞広告掲載などです。それらにかかった費用が上記の通りです。
- ☞ それらを担って下さったのは全て、友人や知人などボランティアのみなさんです。したがって、人件費はかかっていません。
- ☞ 事務所も、地元青山の応援団の方に場所を無償提供頂き、同じくテントも貸して頂いて頂くことができました。
- ☞ **多くの応援団のみなさんのおかげにより、お金をかけずに力をあわせた理想的な選挙運動を行うことができました。心より感謝申し上げます。**
- ☞ なお、上記以外で、選挙車両の賃借、運転手の人件費、ガソリン代金、ポスター作成、選挙葉書郵送の各費用は、法定の公費負担として選挙後に受領しました。